

付属資料

1. ギース加盟学会：アンケート回答依頼のお願い
2. 日本学術会議からの協力学協会へのギースへのお誘いおよび本調査へのご協力の依頼
3. ギース加盟学会一覧
4. ギース役員
5. 日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会委員
6. アンケート調査票

1. ギース加盟学会：アンケート回答依頼のお願い

「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査」 (第1回) 2018年6月 貴学協会の会員の皆様への回答依頼のお願い

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 (Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences, GEAHSS)・日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会・お茶の水女子大学・東京大学の共同で、「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査」を実施する運びとなりました。

つきましては、以下のウェブ調査画面 URL を貴学協会のすべての会員（男女いずれも）の皆様にごメールリスト等を通じて周知していただき、ご回答を奨励していただけますよう、何卒お願い申し上げます。

<https://panelsrv.p.u-tokyo.ac.jp/v2/?r=30NxbM0we5ySoUsCHSJl>

以下の QR コードからも画面に入ってくださいことができます。(QR コード略)

ご回答の期限は 2018 年 9 月末までです。調査画面はマルチデバイス対応で、PC、スマホ、タブレット等のいずれからでもご回答いただけます。

調査範囲は、GEAHSS 加盟学協会を基本としつつ、未加盟の学協会にもお願いすることを予定しております。

調査の内容は、教育経験、仕事内容・仕事の履歴、仕事環境・研究環境、家庭との両立、今後のキャリア展望、研究職の男女共同参画に関する意見などに関する事柄です。ご存知のように、理系では、男女共同参画学協会連絡会を 2002 年に立ち上げて以来、4～5 年ごとにこうした大型調査をされてきました。<http://www.djrenrakukai.org/> にその成果をみることができます。その成果は、科学技術・学術政策にも影響を与えてきました。それをふまえ、本調査の項目は、理系が行ってきたものをベースにしながら、理系との比較を可能にするような人文・社会科学系向けの項目を付加いたしました。

本調査の分析結果を第 2 回目の GEAHSS と日本学術会議との年次共同シンポジウム（2019 年 2 月予定）で報告して、政府への提言等に生かせればと考えております。

日本は理系、人文社会科学系ともに、女性の研究者割合が OECD の中でも際立って低いことはご存知の通りです。人文・社会科学系においても、研究者の実態を踏まえ、ニーズを明らかにして、政策にアピールしていければと思っております。

なお、本調査の企画・実施は下記 6 名の調査実施企画委員が担当しております。各委員は日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会もしくは GEAHSS 加盟学協会に所属しております。今後も調査結果の分析・公表等については、日本学術会議と GEAHSS の 2 つの組織が協力して実施していければと考えております。

以上について、何卒よろしくお願い申し上げます。

調査実施企画委員

永瀬 伸子（お茶の水女子大学教授、日本経済学会、日本人口学会）
上田 貴子（早稲田大学教授、日本経済学会）
仲 真紀子（立命館大学教授、法と心理学会、日本心理学会）
本田 由紀（東京大学教授、日本教育学会、日本教育社会学会、日本社会学会）
中西 祐子（武蔵大学教授、日本社会学会、日本教育社会学会）
大多和 直樹（帝京大学教授、日本教育社会学会）

調査実施主体

日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会（委員長：永瀬伸子）
人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（委員長：井野瀬久美恵
甲南大学教授、日本学術会議連携会員、第一部総合ジェンダー分科会委員）
お茶の水女子大学
東京大学

連絡先：geahss.office@gmail.com

2. 日本学術会議からの協力学協会へのギースへのお誘いおよび本調査へのご協力の依頼

2018 年 8 月 3 日

人文社会科学系諸学会
代表者各位

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会 Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences (GEAHSS) へのお誘いおよび 「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査（第1回）」ご協力をお願い

日本学術会議 副会長	三成 美保
日本学術会議第一部部長	佐藤 岩夫
日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会委員長	永瀬 伸子

日本学術会議との連携のもとで準備してまいりました「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会」Gender Equality Association for Humanities and Social Sciences (GEAHSS 略称ギース、委員長 井野瀬久美恵) が 2017 年 5 月 21 日に発足し、その後順調に加盟学会を増やして、2018 年 7 月末現在、54 学会が加入いたしています（加入学会の詳細・GEAHSS 設立までの経緯については、本文書末尾をご参照ください）。

GEAHSS は主たる活動として、下記の 3 つを掲げております。

1. 学協会におけるジェンダー平等に関するグッド・プラクティス（好事例）の調査・公表
2. 学協会におけるジェンダー統計に関する調査・公表・分析
3. シンポジウム・ワークショップなどの開催

本年は、上記 2、「人文社会科学系研究者の男女共同参画実態調査（第1回）」を、GEAHSS と日本学術会議第一部総合ジェンダー分科会との協力で実施いたします。

すでに GEAHSS 加盟学協会には調査依頼を済ませ、順次調査に参加・回答いただいておりますが、人文社会科学系学協会の実態をより正確に把握するために、未加盟の学協会にもアンケート調査へのご協力を呼びかけるべく、このたびのお願いとなりました。

下記の本調査内容・趣旨にご賛同いただける場合は、GEAHSS 事務局にご一報いただき、調査の WEB サイトを貴学協会の HP 画面やメーリングリストを通じて、学協会メンバーに流していただければ幸いです。

WEB 調査の締切は **2018 年 9 月末**を予定しておりますが、これからご参加いただける学協会については、本調査への参加の可否を諮る時間等を加味して、最大 2018 年 12 月半ばまでの期間延長を考えております。

重ねて、下記にご賛同いただければ、以下の WEB 調査画面 URL を貴学協会の全会員に周知いただき、回答を奨励していただけますよう、よろしくお願い申し上げます。

<https://panelsrv.p.u-tokyo.ac.jp/v2/?r=30NxbM0we5ySoUsCHSJl>

以下の QR コードからも画面に入ってくださいことができます。(QR コード略)

調査の内容は、教育経験、仕事内容・仕事の履歴、仕事環境・研究環境、家庭との両立、今後のキャリア展望、研究職の男女共同参画に関する意見などに関する事柄です。

ご存知のように、理系では、男女共同参画学協会連絡会を 2002 年に立ち上げて以来、4～5 年ごとにこうした大型調査をされてきました。<http://www.djrenrakukai.org/> にその成果をみることができます。その成果は、科学技術・学術政策にも影響を与えてきました。

この良き前例に学びつつ、本調査の項目は、理系が行ってきたものをベースにしながら、理系との比較を可能にするような人文社会科学系向けの項目を付加しております。人文社会科学系学協会としては、初めての大規模調査の試みとなります。

本調査の中間的な分析結果は、第2回目の GEAHSS と日本学術会議の年次共同シンポジウム(2019 年 2 月 9 日、日本学術会議で開催予定)で報告し、政府への提言等に生かしたいと考えております。

また、未加盟の貴学協会におかれましても、本連絡会へのご参加を、理事会や役員会等で議論していただければ幸いに存じます。GEAHSSを通じた人文社会科学系学協会の相互連携により、男女共同参画の具体的な実現を図る一助にいただければ幸甚に存じます。当面、会費等の経済的負担はございません。なにとぞ前向きにご検討いただけますよう、アンケート調査のご協力と合わせて、お願い申し上げます。

なお、GEAHSSの趣旨に賛同いただき、ご参加いただける学協会におかれましては、下記HPよりお申込みください。規約も活動（の一部）もHPにてご覧いただけます。

GEAHSS ホームページ

<https://geahssoffice.wixsite.com/geahss>

お問い合わせ先

geahss.office@gmail.com

GEAHSS：井野瀬久美恵 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会委員長
前日本学術会議副会長、現連携会員、甲南大学教授
inose@konan-u.ac.jp

〒663-8204 兵庫県神戸市岡本 8-9-1 甲南大学文学部 井野瀬研究室

日本学術会議：永瀬伸子 日本学術会議第1部総合ジェンダー分科会委員長
日本学術会議会員、お茶の水女子大学基幹研究院教授
nagase.nobuko@ocha.ac.jp

〒112-8610 東京都文京区大塚 2-1-1 お茶の水女子大学永瀬研究室

<GEAHSS 加盟学会一覧>（2018 年 7 月末現在）

略

<ご参考>

人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会設立にいたるまでと
その後の日本学術会議の活動

○日本学術会議第22期(2011年～2014年)において、2013年に設立された「人文社会科学系諸学会男女共同参画連絡会準備会」と連携をとることを目的として設置された第一部社会学委員会複合領域ジェンダー分科会の役割を引き継ぎ、第23期(2014年～2017年)中の2015年、第一部附設の部会として総合ジェンダー分科会設立。設立の趣旨としては、学協会との学術におけるジェンダー平等の促進について連携をとることとされている。なお、日本学術会議は、三部からなっており、第一部には、言語・文学、哲学、教育学・心理学、社会学、史学、地域研究、法学、政治学、経済学、経営学という人文社会科学を網羅した10の分野の委員会が設けられている。

○2016年3月5日 シンポジウム「若手研究者養成とジェンダー」於日本学術会議

○2016年8月 ジェンダー統計の調査：日本学術会議会員に対して、人文社会科学系学協会での男女共同参画推進状況のメールでのアンケート調査を実施。そこで、各学会員所属の学会におけるグッド・プラクティス(好事例)を収集。

○2017年1月21日 シンポジウム「どう実践する！ジェンダー平等—人文社会科学系学協会における男女共同参画推進に向けて」於日本学術会議

- 一部 Good Practice に向けて：日本哲学会、日本経済学会、
 - 二部 報告：西洋史学会、英米文学会、日本法社会学会、日本労務学会、日本経営学会、
日本哲学会、日本宗教学会
 - 三部 参加諸学会コメント：日本西洋古典学会、日本哲学会、日本宗教学会、日本社会福祉学会、日本社会学会、日本心理学会・日本教育心理学会、歴史学研究会、日本文化人類学会、
日本政治学会、日本経済学会、日本人口学会
- 人文社会学系の会合・交流会の定期的な開催が満場一致の合意事項として確認される
日本学術会議「ニューズレター」第23期8号参照
<http://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/1bu/index.html>

○2017年5月21日 於一橋大学国立キャンパス 発足式
英国哲学会におけるグッド・プラクティス・スキームの立案・実践活動の中心的役割を担う Dr. Joe Morrison (Director of the British Philosophical Association, Queen's University Belfast) の男女共同参画の国際的連携を巡る最新の動向のレクチャーのあとに発足式が行われる

○2017年12月16日 於奈良女子大学記念館 GEAHSS およびジェンダー史学会共催
「人文社会科学分野の男女共同参画を目指して」

○2018年3月31日 於お茶の水女子大学 GEAHSS 発足記念公開シンポジウム
「人文社会科学系学協会における男女共同参画を目指して」
発足記念シンポジウムの様子は GEAHSS のホームページ上でビデオでご覧いただけるようになっています。配布冊子も同様にご覧いただけます。

3. ギース加盟学会一覧

2020 年 1 月現在(アイウエオ順)

アメリカ学会	日本社会心理学会
沖縄女性研究者の会	一般社団法人 日本社会福祉学会
科学技術社会論学会	日本社会文学会
科学基礎論学会	日本宗教学会
化学史学会	日本助産学会
関西社会学会	日本人口学会
九州西洋史学会	公益社団法人 日本心理学会
京都民科歴史部会	日本水産工学会
経済理論学会	日本スポーツとジェンダー学会
国際ジェンダー学会	日本政治学会 (オブザーバー参加)
国際服飾学会	日本西洋古典学会
ジェンダー史学会	日本村落研究学会
ジェンダー法学会	日本哲学会
信濃史学会	一般社団法人 日本認知・行動療法学会
社会言語科学会	日本認知心理学会
一般社団法人 社会情報学会	日本年金学会
総合女性史学会	日本農村生活学会
東南アジア学会	一般社団法人 日本発達心理学会
日本アメリカ文学会	日本犯罪社会学会
日本医学哲学・倫理学会	日本フェミニスト経済学会
日本英語学会	日本文化人類学会
日本教育学会	日本法社会学会
日本教育行政学会	日本法哲学会
日本教育社会学会	日本保健医療社会学会
一般社団法人 日本教育心理学会	一般社団法人 日本民俗学会
日本基督教学会	日本倫理学会
日本経営学会	日本労働法学会
日本経済学会	日本労務学会
日本言語学会	広島史学研究会
一般社団法人 日本健康心理学会	文化史学会
日本語学会	法と心理学会
日本ジェンダー学会	北東アジア学会
日本社会学会	歴史学研究会
日本社会教育学会	

4. ギース役員（第1期） ギース発足より2019年9月27日まで

	氏 名	所 属 ・ 職 名
委員長	井野瀬 久美恵	日本ジェンダー史学会、甲南大学教授
副委員長	青野 篤子	日本心理学会、福山大学名誉教授
副委員長	伊藤 公雄	日本社会学会、京都産業大学客員教授
副委員長	後藤 弘子	ジェンダー法学会、千葉大学教授
幹事	小方 直幸	日本教育社会学会、東京大学教授
幹事（調査担当）	永瀬 伸子	日本人口学会、お茶の水女子大学教授
幹事	吉原 雅子	日本哲学会、九州大学准教授
幹事（事務局）	大串 尚代	日本アメリカ文学会、慶應義塾大学教授

5. 日本学術会議附置第一部総合ジェンダー分科会委員（第24期）

	氏 名	所 属 ・ 職 名	備 考
	伊藤 公雄	京都産業大学現代社会学部客員教授（ダイバーシティ推進室長兼任）	第一部会員
△	窪田 幸子	神戸大学大学院国際文化学研究科教授	第一部会員
◎	永瀬 伸子	お茶の水女子大学基幹研究院教授、学長補佐	第一部会員
△	藤原 聖子	東京大学大学院人文社会系研究科教授	第一部会員
	本田 由紀	東京大学大学院教育学研究科教授	第一部会員
○	和泉 ちえ	千葉大学文学部教授	連携会員
	井野瀬 久美恵	甲南大学文学部教授	連携会員
	上田 貴子	早稲田大学政治経済学術院教授	連携会員
	後藤 弘子	千葉大学大学院社会科学研究院教授	連携会員
	杉田 敦	法政大学法学部教授	連携会員
	巽 孝之	慶應義塾大学文学部教授	連携会員
	仲 真紀子	立命館大学総合心理学部教授、北海道大学名誉教授	連携会員
	二神 枝保	横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授	連携会員
	吉田 克己	早稲田大学大学院法務研究科教授	連携会員
	大串 尚代	慶應義塾大学文学部教授	特任連携会員

◎：委員長、○：副委員長、△：幹事